

第5回 矢板市新庁舎整備検討委員会 会議録

会議名	第5回 矢板市新庁舎整備検討委員会
開催日時	令和6年6月17日（月） 午前10時～午前12時
開催場所	矢板市泉きずな館 北館2階 泉公民館 会議室5
出席者	【委員】 佐藤 栄治、佐貫 薫、福田 博光、東泉 清寿、中嶋 加代子、 三好 良重、村上 和雄、石崎 五百子 【事務局】 矢板市総務課長、総務課管財担当 AIS総合設計（株）
議題	（1）第4回委員会資料の追加修正について （2）新庁舎の想定規模の設定について
内容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 （1）第4回委員会資料の追加修正について （2）新庁舎の想定規模の設定について 矢板市総務課 事務局より 委員会資料を基に上記項目の基本構想案の読み上げを行った。 以下委員からの質疑 発言者 矢板市新庁舎整備検討委員会 委員長：（委員長） 委員：（委） 矢板市総務課 事務局：特記なし （1）第4回委員会資料の追加修正について ・前回ご指摘の職場環境と浸水に関する内容についての修正内容の説明を行った。

・矢板市立地適正化計画における庁舎施設に関する記載の回答について説明を行った。

→第4回委員会資料の追加修正に対する指摘は特になし。本修正について修正案を認める。（委員長）

・立地適正化計画は上位計画か。（委員長）

→上位計画に該当します。

・未来を踏まえた計画か。それとも現庁舎の位置を踏まえこれが策定されたか。（委員長）

→未来を踏まえた計画です。

・立地適正化計画では、駅西側となっているのか。（委員長）

→そのとおりです。

・浸水想定に記載があるが、建設場所の方針が決まっているのか。（委）

→現市役所の課題として、浸水の恐れについて記載をしたもので、建設場所の方向性を定めたものではありません。水害に関する現状を示しました。

・現市役所での建て替えで決定しているわけではないか。（委）

→現時点で決定していません。次回以降の委員会の議論となります。

・本日の委員会の主題は何か。建設までのどの段階になるか。（委）

→本日は庁舎や敷地の想定面積を議論し、規模の目安を把握していただきます。

→補足として、添付されている検討スケジュールに沿って構想の内容を決めていく予定。（委員長）

（２）新庁舎の想定規模の設定について

・第5回の検討委員会資料の説明を行った。

・建物の規模について市の人口が減っている状況踏まえ、規模を設定すべきではないか。（委）

→矢板創生未来プランに記載される人口推計踏まえ、次工程である基本計画で規模の精査をしていきます。

・庁舎の基金が4億円、物価上昇等がある状況で仮に48億円程度となる想定がされた場合、問題ないか。（委）

→基金は令和5年度末で5億円となり、次工程の基本計画、基本設計、実施設計での規模の精査、またその間の基金の積み増しによりすり合わせをしていきます。

・防災機能や福利厚生機能は、今の面積に見込まれているか。（委）

→提示した想定面積値では見込んでいます。

- ・駐車場の必要面積について、来庁者の駐車台数74台は適正か。また、職員が通勤用に許可している台数は何台か。（委）
→一部想定もありますが、実情の数字を採用し導き出しています。職員駐車台数は第5回委員会資料p2の記載の通りです。
- ・本計画は、矢板の財政とバランスが取れるのか。また、議会に対して本検討内容の伝達は行うのか。（委）
→議会に対しては、次回委員会以降で説明を進めていく予定です。
- ・今回、基本構想の検討内容の工程が示され共有できた。また、前回の委員長からの説明も踏まえ、基本構想では必要要件を満たすことを前提とした議論を行うと認識している。予算も踏まえ縮小等の検討は次工程の基本計画で行う認識をしている。（委）
- ・今一度、本委員会で何を検討するのかを委員長、事務局で示してもらいたい。（委）
→本日の議題として、想定規模の算出の考え方を示しています。これらを基に次回以降の敷地の選定、事業手法、基本構想段階での事業費検討を行いますので、その条件として想定規模を設定します。
- ・パブリックコメントでどのように意見を聞き取るのか。また、一般市民とどのように意見交換をするか検討してもらいたい。（委）
→手法は今後詰めていきます。基本構想の段階では市民の意見の聞き取りは予定していませんので次工程以降で必要に応じ、検討します。
→市民の意見の聞き取り方は、いくらでも手法があるので検討すること。（委）
→検討します。
- ・若い人の意見を聞き取りしてほしい。（委）
→若い人も含め世代を問わず幅広く聞き取りします。
- ・延床面積が総務省、国交省基準で比較されているが、起債を考えると総務省基準の方が良いのではないかと。（委）
→総務省起債の基準は、最新の規定では廃止されているが、現在でも算出基準として妥当性が高いため採用しています。
- ・本日、基本構想の検討内容の工程が示されたが、全員が最終的な検討内容をイメージできるように、成果品とする予定の基本構想の目次を次回提示すること。（委員長）
- ・基本構想で予算は概算で算出しますが、この段階では想定規模を基に算出する。それに対し、基本計画で矢板市の独自性や、より詳細な条件を踏まえ面積を削減する検討を行うことになる。（委員長）
例：デジタル化で庁舎の稼働率を下げ、必要面積を削減する等

- ・基本構想では大枠を決め方向性を設定していくが、その終盤から基本計画にかけて、行政職員や議員のワーキンググループを立ち上げ、条件の精査等を進めていくことが必要になる。（委員長）
- 庁内の検討委員会もありますが、こちらの委員会が先行しています。次工程では庁内の検討委員会の開催も予定しています。

- ・他市事例で木造と木質に対して、市有林を活用しようとする動きがある。流通材であれば木材は高くないので、参考にされたい。（委）
- 基本方針7で木材活用の記載をしていますので、基本計画等でも検討していきます。
- 木造も最近は大スパンとなることが多いが、それも踏まえて検討したい。（委員長）

- ・施設の集約化（複合化）についての検討は規模算定の前でなくてよいのか。また、議論をどこまで詳細に行うかが不明なので、先に説明を受け議論したい。（委）
- 集約化となると、集約化の別委員会が組織される。本日は、庁舎施設に対する想定規模についての議論で、複合機能はそこに付加されるものとして別途議論する。集約化の複合する機能については、この委員会で行わない。（委員長）
- 主には庁舎施設の集約化を想定しています。現時点ではその他の機能の集約は想定していませんので、事務局側からその他の機能の複合化を提案することは考えていません。ですが、今後委員会等で集約化の要望が挙がる場合には、検討する必要があるので、第5回委員会資料p5にて施設規模の今後の進め方にて補足を記載しています。

- ・市の人口の減少も踏まえ、駐車台数は200台に減らすことも考え、矢板市に適切で利便性のある機能を検討することも必要ではないか。（委）
- 最低限の台数は確保した上で、適時最新のデータで検討します。基本構想では令和6年の最新の数値より算定しご提示しています。

- ・庁舎施設のみであれば、この委員会は意味がないと考える。今後50年で行政単位の維持の可能性も踏まえ、例えば庁舎施設に財を産む機能の付加を検討する場合は、基本構想で検討すべきではないか。（委）
- 第8回にて集約化の可能性を議題とする予定で、検討を行います。

- ・費用も重要だが震災等も考慮し、強固な施設や、煮炊きができるスペース等、必要な防災機能も想定した上で整備を進めたい。（委）

- ・この委員会で私たちは、庁舎機能の面積を算定し、そこから建設構造や必要な諸室といった機能を検討することが目的で、集約化等の議論は別で検討するという認識でよいのか。（委）
- 基本構想はおおよそ認識の通り。規模算定等をベースとして、矢板らしさをどのように持たせるか方針を基本構想で検討していく。今回はその規模算定方法を委員会にて報告し確認を取る段階としている。
また事業手法も検討予定となっているので、検討後に民間活力の導入など意見が出た場合はサウンディング調査等を別途行う必要が出てくる。
（委員長）
- ・集約化には他の施設の建て替え時期なども大きく関わるため、施設管理計画の確認も必要。また、実際に集約化の必要が出た場合には、集約化の委員会の回答を待つため、新庁舎整備検討委員会を止めた事例もある。（委員長）
- ・自治会館、高根沢は事例の一つであり、矢板での庁舎施設の在り方を検討することが重要。庁舎施設のみを考えればよいということは疑問である。（委）
- ・議題を広義に受け取られると、集約化の話が出るなど目的が分からなくなるため、議題内容を明確にする必要がある。
本日は執務空間の規模に限定しての議論で良いか。ということを再確認させてほしい。（委）
- 庁舎の面積、庁舎機能の敷地面積のみです。集約化については本日の議題ではないため、今後提示します。
- ・冒頭に何を決定するのか示すこと。また市庁舎の定義が委員として異なるので説明すること。（委）
- ・冒頭の決定事項の説明に加え、最後にはその決定事項を改めて明確に示すこと。（委）
- 次回以降対応します。
- ・議題（１）第４回新庁舎整備検討委員会の内容については本日の内容で進めさせていただきます。
- ・議題（２）庁舎施設、執務空間の想定規模、敷地の想定規模と算定方法について資料の内容で承認をいただきましたので、こちらも本日の内容で進めさせていただきます。

	5 その他 ・矢板市庁舎整備基本構想の策定に係る今後のスケジュールについて説明を行った。 6 閉会
--	---